

PRESS RELEASE

ギャラリー小柳 展覧会のご案内
熊谷亜莉沙 | 私はお前に生まれたかった
2022.4.16 (土) - 6.25 (土)

大勢の神様の顔横並べ一つ選んであなたがいい

Of all the subjects of worship
You are the one for me



報道関係者各位

平素よりお世話になっております。

この度ギャラリー小柳では、2022年4月16日（土）から6月25日（土）の会期にて熊谷亜莉沙の個展『私はお前に生まれたかった』を開催いたします。

2020年に国立新美術館で開催された「シェル美術賞 アーティスト・セレクション 2020」で熊谷は自他の加害性の象徴として陶器の豹を描いた作品を発表しました。前に進むことを決心した作家は、自らの手でその豹を破壊、それを描きました。約3年ぶりとなる今回の個展では、その作品を中心に全て新作で構成されます。

人を傷つけたいという欲求がある。

あるいは他者そのものを自分の一部だと思いたい。

漠然とした復讐心があった。

それは生まれついて私の中にあるようだった。

発見は、絶望と同時に霧が晴れたような気持ちをもたらした。

私は私を破壊し続けることでしか生きていけない。

自身の加害性から逃れられないのならば、

常に自身を破壊し進むこと、が一つの答えだった。

それが、私自身の全ての倫理と道徳にもなりうる。

熊谷の作品の出発点には常に自身のバックグラウンドが色濃く反映され、富裕と貧困、生と死、愛と憎しみという非合理的で矛盾に満ちた人間のありようや、その表裏一体の感情や姿に焦点を当て制作されています。

「熊谷が描き出すのは、「美しいもの」の解像度を上げた時に現れる棘—禍々しさの領域である。それは、美や愛、幸福といった、私たちの生を取り巻く肯定的な世界が、目まぐるしく推移する消費社会や、性差による力の不均衡など、危うい基盤の上に立つ儂く脆いものであることを暗示する。」

（藪前知子 「シェル美術賞 アーティスト・セレクション 2020」 推薦コメント）

卓越した写実表現で描かれる不穏な存在感をたたえた作品は、熊谷のパーソナルな感情や経験、自身の過去と現在に向き合うことで生まれ、個人的な背景を超えた強いエネルギーで鑑賞者の内部に入り込んでいきます。本展では鑑賞者に豊潤な想像力を喚起させるテキストが併置され、熊谷の創作に新たな展開を予感させています。

展覧会の初日、4月16日（土）は作家在廊予定です。ぜひお立ち寄りいただけますようお願いいたします。

資料および図版のご依頼は担当者までご連絡ください。ご掲載際にはご一報いただけますようお願い申し上げます。

ギャラリー小柳

【広報用図版】

図版1点掲載の場合：



大勢の神様の顔横並べ一つ選んであなたがいい

*上記テキストは作品の一部ですので、必ず図版に併記ください

図版2点掲載の場合：



大勢の神様の顔横並べ一つ選んであなたがいい

*額装されたテキストが読めるサイズで掲載の場合は上記テキストの併記は不要です

キャプション：

(日本語表記)

熊谷亜莉沙

You or I

2022年

油彩、パネル／活版印刷、額装

195 x 97 cm / 15.3 x 21.4 cm

(英語表記)

Arisa Kumagai

You or I

2022

oil on panel / letterpress printing on paper, framed

195 x 97 cm / 15.3 x 21.4 cm

クレジットライン：

© Arisa Kumagai / Courtesy of Gallery Koyanagi

【展覧会概要】

作家名：熊谷亜莉沙（くまがい ありさ）
展覧会名：私はお前に生まれたかった
会期：2022年4月16日（土）～6月25日（土）
*4月16日（土）作家在廊予定

開廊時間：12:00～19:00

休廊日：日・月・祝祭日

（最新情報はウェブサイトをご確認ください）

会場：ギャラリー小柳

東京都中央区銀座 1-7-5 小柳ビル 9F

Tel: 03-3561-1896 Fax: 03-3563-3236

交通：東京メトロ有楽町線 銀座一丁目駅 7番出口より徒歩1分
丸ノ内線・銀座線・日比谷線 銀座駅 A-9出口より徒歩5分

URL：<http://www.gallerykoyanagi.com>

お問い合わせ：ギャラリー小柳

電話 03-3561-1896 | メールアドレス mail@gallerykoyanagi.com

【参考資料】

「シェル美術賞 アーティスト・セレクション 2020」国立新美術館、2020年 作家ステイトメント



自身と他者のバックグラウンドを背景に、富裕と貧困、生と死、愛と憎しみという非合理的で矛盾に満ちた人間のありよう、その表裏一体の感情や姿に焦点を当て制作している。

陶器の豹は特に、自他の加害性の象徴として描いた。

巨大な夫と結婚した。身体として自分が弱者ということを改めて思い知らされ、嫉妬し懂れた。気付けば心に燻っていた「男に生まれたかった」という気持ちが「私はお前に生まれたかった」という屈折した気持ちとして蓄積していた。

ある晩、夫が悪夢で飛び起き私の首を思わず絞めた。すぐに夢から覚めて夫は驚き、大きな体を目一杯縮め「きみを殺してしまうかもしれない」とぶるぶる泣いた。私は「物理的にか弱くとも、あなたの心をこんなにも傷つけることができる」ということに強烈な多幸感を感じ、同時に自身の無意識の暴力性に涙を流す夫を「なんて可憐な人だ」といしく思った。

私は作品を制作している限り、自身の加害性からも逃れられないと感じている。

熊谷亜莉沙

【藪前知子（シェル美術賞審査員） 推薦コメント】

服飾店を家業としていた熊谷亜莉沙の作品には、豪華なハイ・ファッションの質感と家族の記憶、非日常と日常が奇妙に接続されている。熊谷が描き出すのは、「美しいもの」の解像度を上げた時に現れる棘一禍々しさの領域である。それは、美や愛、幸福といった、私たちの生を取り巻く肯定的な世界が、目まぐるしく推移する消費社会や、性差による力の不均衡など、危うい基盤の上に立つ儂く脆いものであることを暗示する。装飾品である豹を描いた新作は、秘められた攻撃性、支配関係に対する憧れが愛のうちに隠されていること、女性である自らのうちにも否定し難くあることを、印象的なステイトメントとともに示している。その暴力性が、描くという行為とも分ち難く結びついていることに自覚しつつ、熊谷は自らを掻き立てる衝動に、静かに向き合う。

【参考資料】

「Single bed」 ギャラリー小柳、2019年 作家ステイトメント



Single bed

父が孤独死した。
冬を越え、春になってしまったようで地元の新聞にも載った。
それが父であるか判別するのに2ヶ月かかった。
彼はまだ50代だった。

葬式も無かった。
その後彼の実家に直接行ったのは私ひとりで、母は大きな花束だけ彼に手向けた。
最近のお供え花は、それとは思えないほどに華やかできれいだ。

あれからもうずっと、母が手向けた美しい花のことを考える。

どうしようもなく人が人を愛してしまうことも、憎んでしまうことも、気が狂いそうなほどの寂しさも、
手放しがたい孤独も。

眠ることは小さな死だという。
私は今日も自分のシングルベッドで眠る。

熊谷亜莉沙

熊谷亜莉沙 略歴

- 1991 大阪生まれ
 2013 京都造形芸術大学 洋画コース卒業
 2015 京都造形芸術大学大学院 総合造形領域卒業

個展

- 2019 Single bed (ギャラリー小柳・東京)
 2015 Leisure Class/熊谷亜莉沙個展 (Gallery Art Composition・東京)
 2013 熊谷亜莉沙個展/MAMA (atamatote2-3-3・東京)

グループ展

- 2020 シェル美術賞 2020 『シェル美術賞 アーティスト・セレクション 2020』 (国立新美術館・東京)
 Photographs (ギャラリー小柳・東京)
 2017 Portrait (ギャラリー小柳・東京)
 2016 ULTRA x ANTEROOM exhibition 2016 (ホテルアンテルーム京都・京都)
 ARTOTHÈQUE SELECTION 2016 (京都造形芸術大学・京都)
 2015 スタジオハイデンバンオープンスタジオ (スタジオハイデンバン・京都)
 混沌展/京都造形芸術大学選抜展 (スパイラル・東京)
 京都造形芸術大学大学院 修了制作展 (京都造形芸術大学・京都)
 2014 Politics Narcissism (ARTZONE・京都)
 熊谷亜莉沙 田中裕子 山崎鈴子三人展 (画廊くにまつ・青山/京都)
 佐藤国際文化育英財団第 23 回奨学生美術展 (佐藤美術館・東京)
 名古屋芸大、京都造形選抜交流展 (名古屋芸術大学・名古屋)
 東京藝術大学大学院 小林正人研究室 × 京都造形芸術大学大学院
 Pr PROJECTS 交流展 (Pr PROJECTS room・京都)
 SPURT 展 (京都造形芸術大学・京都)
 上野の森美術大賞展 (上野の森美術館・東京)
 2013 シェル美術賞 2013 (国立新美術館・東京)
 HOP 展 (京都造形芸術大学・京都)
 PARADE (3F project room・京都)
 「はじまりの部屋」京都造形芸術大学卒業制作選抜展 (康耀堂美術館・長野)
 京都造形芸術大学卒業制作展 (京都造形芸術大学・京都)
 2012 弘益国際美術祭 (弘益・韓国)
 ワスレモノハナデスカ 掌の珠玉 (ギャラリーi・京都)
 学科優秀選抜展「めばえ」 (京都造形芸術大学・京都)
 ARTZONE SELECTION 展「増殖する自己と他者の血脈の響鳴」 (ARTZONE・京都)

受賞歴

- 2015 京都造形芸術大学大学院修了制作展 優秀賞
 2014 SPURT 展 浅田彰賞
 上野の森美術大賞展 入選
 2013 シェル美術賞 入選
 京都造形芸術大学卒業制作展 千住博奨励作品賞、瓜生山賞、学科賞

2013 年度 公益財団法人佐藤国際文化育英財団・佐藤美術館 指定奨学生

2013 年度 公益財団法人 日本文化芸術財団加藤定奨学金 奨学生